

7月のスタディー参加者は長野と伊藤の二人ということもあり、コロナ禍にこそ気づく同じ空間と身体活動を共有することの重要性についての検証???(^^)を試みることにした。

↓

今年度芸術祭で上演する舞台作品の大枠イメージを共有しておきたい。

10:00・・・白山総合文化センター駐車場集合(余談:この日、地震警報アラートが鳴った)

↓ 🚗40分

●まず、長野が体験した一本植え(5/30)の無農薬、無肥料の田んぼへ。
ひょろっと不安げに見えた苗たちは、しっかり株分かれして堂々と育っていた。

伊藤「稲と稲の間隔が広いね。」

しばらく田んぼを見つめる。

↓ 🚗3分

●ほど近い名所、三多気の桜へ移動

駐車場から800mとある真福院まで歩くか?しばし考える。何となくやめる(^^;)。

↓ 🚗10分弱

●御杖道の駅(奈良県)へ、周辺地図を見ながら目的地を選定。

道の駅のスタッフ!自然体!とても感じ良い!やはり地域の顔としてとても重要と感じるけれど、地域を愛し仕事をたのしんでいるという特別ではないはずの素敵な体温があるのだと思った。

みつえ体験交流館 と 四社神社を目指すことにする。

↓ 🚗10分弱

・木造平屋の小学校舎を活用、閉っていたが覗いてみると廊下がピカピカ✳

あ~大事に使われているんだな!と二人安心する(*^-^*)

・倭姫縁の宮とある。ハナナガ獅子祭りという地域独特のまつりは継承されている様子。杉の大木に守られ、小川のせせらぎあり、しばらくボ~と過ごす。

↓ 🚗15分

●時計を見る、もうすぐ13時・・・伊勢奥津駅八幡公民館へ移動。

再度、道の駅によりお弁当購入・・・けっこう迷う!目をつけていたものはすでに売り切れていた(-_-)。

・八幡公民館・・・支所と併設、キレイ!小会議室、和室、調理室、多目的空間
どのように利用されているのか?聞いたかったが、その後利用する予定が無いので遠慮。

・お昼ごはん

(二人の振り返り)

◆創作活動を開始する前に、ビジョン、イメージの共有目的に一見無関係な時間と空間の共有をすることは今やあまりない。電話とかメールで済ませるか、やりながら共有していく。

けれども、何か表現をつくっていくとき、それぞれ本人にしかわからない想像の中から共通点を見つけだしていく作業は欠かせない。共通点を見つけ出す作業というのは、本来同じ空間の中で五感を機能させながら、お互いの思いを伝えあう

ことがあるべきだろうなあ！と改めて話した。

素人が限られた時間の中でつくっていく作品ながら、しかたない、無理だ、といった思い込みに流されないようにしたいと思った。

◆雑談として、上記振り返りを話し合った後、オープニングとなる背景を共に想像してみた。 気持ちのいい時間だった。

●アッという間に時間は過ぎ、公民館を後にした。15：40

↓ 🚗40分

16：30・・・●白山文化センター駐車場 解散

【まとめ】五感で感じ、考えを共有し、メッセージをつくっていくこと（ここでは、舞台作品をつくっていくこと）は、本来とても時間がかかること。時間は限られているけれど、やらなければならないことのみを翻弄されることなく、時として遠回りになるような無関係に感じる“同じ空間と身体活動の共有”をたのしむ勇気をいつも忘れないようにしたい。



→



5/30田植えした時の田んぼ（美杉町石名原）

7/30無農薬、無肥料で育った稲



奈良県御杖村、四社神社の境内